

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

国内子ども支援の現場から

全国11カ所の
民間シェルター等を助成

ワールド・ビジョン・ジャパンは2021年より、長引くコロナ禍で急増したDV・虐待等被害の状況を憂慮し、特に脆弱な環境にある子どもに支援を届ける観点から、DV・虐待被害者等の宿泊型支援等（民間シェルター等）に対する活動資金の助成を開始しました。2023年度からは日本全国に対象地域を広げ、現在、全国11カ所の民間シェルター等の活動に助成を行っています。



©World Vision

シェルターの一室



©World Vision

干潟での自然体験と貝殻工作

民間シェルター等利用者の声

保護者の方より

- 同じように日々がんばっている仲間がいると確認できて、一人じゃない、明日からも頑張ろうと思えた。
- 本当に、安心安全と心地よさを感じさせてもらえて大変感謝している。
- 子どもがピカピカの洗面台を使えることを喜んでいましたし、私もとても気持ちが良く前向きな気持ちになりました。ありがとうございました。

助成金を活用した自然体験イベント(写真右)に参加した子どもの感想

- 暑かったけど安心して遊べた。カニをいっぱいつかまえられてうれしかった。

助成事業の報告が届きました

「民間シェルター」とは、民間団体によって運営されている、暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設です。様々な事情から公的支援の対象外になってしまった方の受け入れ先になっている民間シェルターもあります。WVJの助成金は新たな入居希望者を受け入れるための部屋の確保や、寝具といった備品の購入、洗面台の修繕などに活用いただきました。「不安な中新しい生活を始める方に、少しでもほっとできる時間を提供

したい」というスタッフの方の思いを実現するために役立てていただきました。また、支援を受けている家庭の子どもたちに向かって、マンツーマンでの学習指導、エンパワメント講座やセラピーの実施、自然体験イベントなど、子どもたちへのサポートに力を入れている団体も多くありました。また、本助成金があることでスタッフの負担を軽減し、安定的に支援を提供することができるようになったとの声もいただきました。

～スタッフからひとこと～

民間シェルター等利用者の多くは、DV等によって本人が本来もっている能力や生活環境を奪われた方々です。家庭内で起きる暴力はおとなも子どもも深く傷つけます。民間シェルター等ではDVの被害を受けたおとなや子どもに安全な生活環境や自立に向けた様々な支援プログラムを提供していますが、課題の性質上いつどのような支援が求められるのかを予測することができないことに加え、特別な配慮が必要なケースも増えており、資金やスタッフが足りず困っている団体も多くあります。WVJは、日本全国で一人ひとりの被害者に寄り添って支援を続ける団体の皆さまからの声を聴かせていただきながら、よりよい助成プログラムを整えてまいります。（高橋・真田）

